

自己評価表

この評価表は、国（市）の指導により全放課後等デイサービスが年に一度以上ホームページ等に公表することを義務付けられているもので、勤務する職員自身により事業所を評価するものです。評価表への記入とご提出にご協力をお願いいたします。

令和4年度 アトリエバンダ放課後等デイサービス 職員による評価

環境や支援業務改善等		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標/工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	◎			利用者の座席配置など配慮を心がけて支援にあたってまいります。これによりスペースの確保にもつなげることができます。
	2	職員の配置数は適切であるか。	◎			小中高教員免許や幼稚園教諭、保育士の有資格者など専門力を有した職員構成なので一層充実したサービスをご提供いたします
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	◎			手すりやバリアフリーを活かした安全活動にも配慮しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	◎	○		PDCAに関しては全体として日常的に着手できるよう、より一層の整備をはかってまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施し保護者の意向等を把握し業務改善につなげているか。	◎			積極的に行わせて頂いております。ご家庭からのご相談には真摯に対応しておりますのでいつでもご連絡ください。
	6	この自己評価の結果を事業所のホームページ等で公開しているか。	◎			ホームページでの公開に伴い内容に即した信頼ある事業所づくりに精進いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		弊社におきましては外部評価者選出を検討し定期的な実施に向け調整して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか。	◎			今より一層、意欲的に研修参加できる機会を増やして参ります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	◎			美術特化の放課後デイを利用されるお子さまや保護者様のご要望に応えるべくサービスや指導に努めております。
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	◎	○		アセスメントツールの活用に向けた職員が在籍しておりますので今後の運営にいっそう活かして参ります。
	11	活動プログラム立案をチームで行っているか。	◎	○		美術特化としてご家庭のニーズにお応えしていくことができるよう日々の教材研究、プログラムの充実を図っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	◎			アートプログラムは絵画 立体 キャラクター 彫刻 臨床美術 染織 建築 陶芸 デザイン等工夫した時間割を組んでいます。
	13	平日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	◎			特に宿題は必須で教員資格を有した職員が多数在籍しておりますので指導させて頂いております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	◎			今後もみなさまのより一層のご理解と信頼を得られるよう誠実に対応させて頂く所存です。
	15	支援前、あるいは終了後や翌日には、職員間で打合せをし、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	◎			日常の職員会議（ミーティング）等でその日行われる支援の内容や役割分担などを行っております。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	◎			美術特化の事業所として一人ひとりの制作履歴と療育の視点や作品から見られる発育発達進捗状況等の個別記録、デイ利用後の個別活動記録のまとめなど、それぞれの記録が連動するよう努めてまいります。
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	◎			6か月ごとのモニタリングにおいて美術に関すること、全体のことなど保護者のニーズを確認し計画の更新を行っています。

関係機関や保護者との連携等対応	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標/工夫している点など
関係機関や保護者との連携	18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか。	◎	○		ガイドラインに則った支援を意識してまいります。
	19 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	○	○		ペアレント・トレーニングとしては社内研修で支援方法について共有し対応に配慮しております。
	20 障害児相談支援事業所サービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しい者が参画しているか。	◎			年間を通して利用者の受給者証更新時期に合わせて適性に見合う職員が担当者会議に参加しております。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定の交換、子どもの下校時刻の確認）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	◎			今後も何事も迅速に、遅滞なく適切に対処してまいります。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	◎	○		担当主治医：西角三愛小児科
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めているか。	○	○		常に相互理解に努めてまいります。
	24 学校を卒業し放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	○	○		適宜行っております。放課後等デイサービス利用者が次なる移行先でも安心して活動頂けますよう配慮しております。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○	○		児童発達支援センターとは適宜連携しています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。	◎			イベント日などを利用して障害のない子どもを含めた活動（世代間交流等）を取り入れることがあります。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に（地域自立支援）参加しているか。	◎			そのような機会があれば参加を検討します
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い発達の状況や課題について共通理解を持っているか	◎			連絡帳、みらいダイアリーを活用した報告、制作を通じた活動状況、日々の保護者との顔合わせで共通理解をはかっています
保護者への説明責任など	29 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	◎			支援の内容は体験見学の際に、運営規程と利用者負担等は契約時に説明しています。
	30 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	◎			ご家庭個々のご事情に最大限配慮し、適切に対応させていただく所存です。
	31 保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか。	○	○		アトリエパンダイベントでの保護者交流などの実績あり。
	32 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備すると共に子どもや保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	◎			迅速にかつ適切に対応させていただきます
	33 定期的に通信や会報を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか。	◎			HP を適宜更新しています。情報は毎月のトピックス、告知、活動状況を中心にして発信しています。
	34 個人情報に十分注意しているか。	◎			個人情報には常に気をつけています。
	35 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	◎			常に配慮しております。
	36 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか。	◎			地元自治会の理解を得たうえで事業所運営、近隣住民の来訪見学などに誠意をもって対応しております。
非常時等の対応	37 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	◎	○		全保護者に対し契約時において説明し同意を得ています（重要事項説明書、契約書参照）
	38 非常災害の発生に備え定期的に避難救出その他必要な訓練を行っているか。（避難訓練）	◎			毎年3度の実施に努めてまいります。
	39 人権擁護・虐待防止のため職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか。	◎			法務省から委嘱を受けた人権擁護委員が職員におりますので研修に活かしています。
	40 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	◎			身体拘束を必要とする利用者はおられません。
	41 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○		保護者からの申告にも対応しています。
	42 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	◎	○		当事業所での事例は無いが、様式は準備しています。